

平成30年度全国学力・学習状況調査（3年生で実施）の結果について

○本校の状況

- 2教科（国語・数学）とも、A（知識）とB（活用）の結果がほぼ一緒である。
- 2教科（国語・数学）とも、記述式の問題を苦手としている。
- 国語では、領域において「書くこと」が低い結果となっている。
- 数学では、「数と式」に関する分野で高い結果がでており、関数に関する分野を苦手としている。
- 数学への関心意欲は高い結果となっている。
- 家庭学習をしているという回答が、高い結果となっている。
- 1日あたりの学習時間（塾の時間を含む）は、3時間以上、2時間以上が約3割、1時間以上、30分以上が約6割、30分未満、全くしないが約1割となっている。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」「家で学校の授業の予習・復習をしている」の回答が、全国・県平均を下回っている。
- 読書の平均時間が、全国、県平均を上回っている。
- 「週末に何をしてお過ごしことが多いですか」の質問に対して、部活動に参加していると回答した生徒が多い。また、テレビやDVD、ゲーム、インターネットをしていると回答した生徒も多い。

○経年との比較

昨年度のデータとの比較をすると

- 数学において、短答式の正答率が上がり、領域において、数と式、関数の問題が高くなっている。また、数学への関心も去年より高くなっている。
- 家庭学習の習慣が、昨年度より高くなっている。
- 学習習慣、生活習慣（規範意識、自尊感情）の数値が昨年度と同様、高い数値を表している。

○今後の取組

- ワンデイワンページの取組で、家庭学習の習慣がついてきている。しかし、質問調査の結果から、学習する内容を自分で判断、計画することが苦手としていることが読み取れる。今後、学校で学習した内容において、自分にとって何が課題なのかを振り返ることが必要と思われる。
- 2教科とも記述式の問題を苦手としているので、授業の中で書いたり、表現したりする活動を多くし、伝えたいことが的確に表現できるようにしていく。
- 学習習慣、生活習慣が良い状況が続いているので、落ち着いている現状を維持し、生徒主体で行事運営や、学びあいの取組を推進していきたい。
- 今年度は、Kタイムの時間を利用して、読書週間を行ってきた。その結果。読書の習慣が身につけてきているので、来年度も取り入れていきたい。
- 多くの生徒が部活動に所属し、一生懸命活動し、結果をだしている。今後も生徒が活躍できる場を作り、自身を持たせていきたい。